

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分			
1	下水道汚水事業	新規	拡大	継続	
会計区分	款	項	目		所管
下水道事業会計	1	1	1, 2		建設局 下水道部 下水道計画課
事務事業の位置付け					
しあわせ倍増プラン2009	番号	51-3	事業名	下水道の整備	
総合振興計画新実施計画	事業コード	6302	事業名	下水道汚水事業	
根拠法令等	下水道法				
予算要求事業の概要					
内容	<p>本市の下水道事業は、行政面積の77%にあたる約16,800haを公共下水道の整備区域(全体計画区域)として定め、単独公共下水道と流域関連公共下水道によって整備を進めています。平成22年度は、未整備地区の多い西区、見沼区、桜区、緑区および岩槻区を重点的に270haの面整備を実施することで、平成22年度末における下水道普及率を87.9%(+1.3%)に向上させます。</p>				
目的・目標	<p><目的> 下水道汚水事業は、市民の生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るものです。</p> <p><目標(平成24年度末)> 1 下水道普及率 90%</p>				
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 1 下水道普及率 86.6%</p> <p><課題> 平成21年度末の下水道普及率は86.6%を予定しており、8割以上の市民が下水道の受益を受けている反面、未だ約16万人の市民が下水道を利用できない状況となっています。</p> <p>市街化区域の整備は概ねの目的がたったことから、未整備地区を多く抱えている市街化調整区域については、家屋の密集状況や周辺の整備状況を見定めて、整備を進めていく必要があります。</p>				
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度 整備面積 270ha 下水道普及率 87.9% 平成23年度 整備面積 270ha 下水道普及率 89.0% 平成24年度 整備面積 270ha 下水道普及率 90.0% 				

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	8,898,146	<積算内訳> [主な内容] 1 管きよ 整備面積240ha 8,594,146 西区、見沼区、中央区、桜区、浦和区、南区、緑区の管きよ整備工事
	財源内訳	4,532,700 1,855,000 751,708 1,758,738	2 ポンプ場 304,000 南中丸ポンプ場の整備(土木・建築工事) (3カ年継続事業の2年目)
平成22年度	当初予算要求	9,928,696	<積算内訳> [主な内容] 1 管きよ 整備面積270ha 9,669,696 西区、北区、大宮区、見沼区、桜区、浦和区、南区、緑区、岩槻区の管きよ整備工事(270ha)
	財源内訳	5,467,100 1,974,000 342,400 2,145,196	2 ポンプ場 259,000 南中丸ポンプ場の整備(機械・電気工事) (3カ年継続事業の3年目)
	財政局長査定	8,761,296	<査定理由> 平成21年度に引き続き、未整備地区の多い区の整備を重点的に進め、しあわせ倍増行動計画において目標としている平成24年度末迄に下水道普及率90%を達成するため、必要な経費を要求するものです。
平成22年度	財政局長査定	8,761,296	<査定内容> 1 管きよ 整備面積250ha 8,502,296 2 ポンプ場 259,000
	財源内訳	6,928,400 1,694,000 138,896	<査定理由> 独立採算による経営を前提に平成24年度末普及率90%達成を目指すものとし、下水道を利用する方が将来負わなければならない負担も考慮して、概ね前年並みの予算としました。
	市長査定	8,761,296	<査定内容> 同上
	財源内訳	6,928,400 1,694,000 138,896	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。